

昨年を超える売却額

全日程が終了しました。

今年度は昨年度行えなかったトレーニングセールも開催され、大いに盛り上がりを見せた軽種馬北海道市場でした。なお、昨年はサマーセールが4日間開催、セプテナーセールが3日間開催でしたが、今年はサマーセールの上場頭数が多く5日間開催となり、セプテナーセールが2日間開催となりました。

市場では昨年同様、一般来場者については入場できず、入場前には検温の実施、マスクの着用等の対応を行っており、至る所に消毒用のアルコールが設置されておりました。また、場外での購買席が準備されておりこちらからも積極的に取引がされておりました。

価格につきましては、市場全体で昨年と比較して30万円以上高く取引されました。上場頭数も267頭も多く上場し非常に活気のある市場となりました。

なお、売却率も昨年と大きく変わりませんでした。静内産馬におきましても次ページの通り非常に良い結果でセリを終えられました。

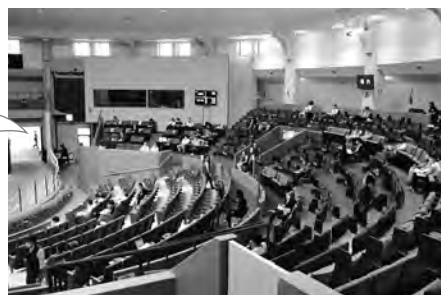
購買者席が空いており不安がよぎりましたが、非常に良い市場結果であり、取り越し苦労に終わりました



馬を牽いているのはインドの方でした



上場待ちです



菊花賞(G1)優勝 タイトルホルダー号

岡田スタッド 生産

10月24日、兵庫県の阪神競馬場で開催された「菊花賞」(芝3000m)で岡田スタッド生産のタイトルホルダー号(牡3歳、父ドウラメンテ、母メーヴェ)が、42年ぶりに阪神競馬場で行われた3歳牡馬クラシック最終戦を制しました。

タイトルホルダー号は皐月賞(G1)2着、日本ダービー(G1)6着と春のクラシックでは善戦していましたが、タイトル獲得には届かない状況でありました。

本レースでは内枠スタートで春のクラシック同様先頭に立ち、4馬身まで差を広げ独走状態で逃げ始めました。残り1000m付近で後続馬が追い付いてきましたが、最終コーナーから素晴らしい伸びを見せ、後続馬を3馬身、5馬身と突き放し影も踏ませない見事な勝利で重賞2勝目を飾りました。次走は12月の有馬記念を検討しているとのこと、鮮やかな逃げをまた期待しています。

(勝ちタイム3分04秒6)

